



「北陵ニュースレター発刊にあたって」

同窓会長 大井 龍司 (高10回)

この度北陵ニュースレター（以下、レター）を発刊し、会員の皆様にお届けすることになりました。その創刊にあたり、その刊行に至る経緯ならびに趣旨について述べさせていただきます。

従来、仙台二高同窓会報（以下、会報）はブローニー版で年二回（6月春季号と12月号）刊行されておりました。小生は、2年前に同窓会長を拝命した時点で、これまでの会報のすべてに目を通したのですが、それらには年二回刊行する必要性をほとんど見出すことができませんでした。しかもその刊行に要する費用が同窓会年会費（以下、会費）納入額の約60%弱を占めること、さらには日頃多忙な広報・会報担当理事の編集作業過重を看過できないことなどから、会報刊行を見直す必要性を痛感しました。

これらの問題点があるにもかかわらず、年二回刊行していた理由を調べたところ、会報12月号に払込用紙を同封し会費未納入会員に再度納入を促すことと、翌年1月に開催される「PTA同窓会合同懇親会（PT同懇）」への参加者を動員するためとのことでした。

そこで理事会では、会報刊行を年二回から一回に変更することにつき慎重に検討、議論をいたしました。その中で、年一回にすることで上記の問題点は大幅に軽減できるものの、たとえHPやメーリングリストを活用したとしても、すべての同窓会員に対して、母校ならびに同窓会に関するタイムリーな情報伝達には限界があることや、年度末や次年度当初の行事案内が的確に行えないこと、さらには会費の納入減につながるおそれがあることなどの新たな問題点が指摘されました。

理事会の結論としては、会報を年一回刊行することで起こり得るこれらの問題点を解決するために、従来の12月号に替わる情報伝達手段として「レター」を刊行することにし、それを本年の定例評議員会、総会に諮り認めていただきました。これで会報関連費用は会費納入額の50%弱と減少し、広報・会報担当理事の編集業務軽減にもつながることになりました。なおこの変更に合わせて、会報はA4版に、内容も充実させ写真もオールカラーと、まさに（旧）仙台二中・二高同窓会に相応しい会報に変容させました。

いまお手元に届いたレターは、ご覧のように6月の会報刊行以降のごく必要事項のみの記載でまとめてありますが、今後とも同窓会員への身近な情報伝達誌としてお役に立てるものと確信しています。またレターに併せ払込用紙が同封されている会員の皆様には、会費の納入をお忘れなきようお願いいたします。

なお今回NY支部会員とのやり取りから、これまで海外には会報をお届けしていなかったことが分かり、本レターから海外在住の会員諸氏にも送付することにしたことを付記します。

〈PTA・同窓会合同新年懇親会を開催します〉

日 時：平成27年1月23日(金) 18:00～ 場 所：江陽グランドホテル4階「銀河の間」

会 費：5,000円(一般) 2,000円(学生) アクセス：地下鉄「広瀬通駅」西1番出口より徒歩0分

参加申込：12月24日(水) までに下記の方法で申込下さい

・電話、E-mailの場合………同窓会事務局あてに直接連絡 ・FAXの場合………022-221-5686へ申込下さい

同窓会事務局：(TEL) 022-221-5651 (FAX) 022-221-5686 (E-mail) qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp

*同窓会事務局への電話連絡は、毎週月・水・金の10:00～15:00の間をお願いします

〈支部活動報告〉

(11月15日現在) 理事会出席分

名 称	日 時	参加者	会 場
北陵ドクター倶楽部 (設立総会)	7月13日(日)	66名	江陽グランドホテル
仙台市役所北陵会	7月14日(月)	60名	江陽グランドホテル
岩沼北陵会	7月26日(土)	18名	割烹 ホテル桃幸
山形支部 (設立総会)	7月27日(日)	18名	ホテルメトロポリタン山形
関西北陵会	8月2日(土)	29名	(社)中央電気倶楽部 (大阪市)
在京同窓会	9月24日(水)	157名	ホテルオークラ・アスコットホール
亘理支部	10月4日(土)	23名	「二の丸」会館
宮城県庁仙台二高養賢会	10月31日(金)	80名	KKRホテル仙台
東海北陵会	11月8日(土)	21名	丁稚そば
仙教委北陵会	11月21日(金)	予 定	ハーネル仙台
塩釜支部	11月22日(土)	予 定	汐のや
岩手支部 (仙台一高同窓会との合同)	11月29日(土)	予 定	三寿司菜園総本店
福島北陵会	11月29日(土)	予 定	ホテルバーデンin郡山

〈行事予定〉

年 度	日 時	行 事	会 場
H26年度 (H27年)	1/23(金) 18:00	PTA同窓会合同懇親会	江陽グランドホテル
	2/28(金) 10:00	同窓会入会式	仙台二高講堂
	3/1(日) 10:00	卒業式	仙台二高講堂
H27年度 (予定)	4/8(水)	入学式	仙台二高講堂
	5/1(金)	創立記念行事 (講演会)	仙台二高講堂
	5/9(土)	硬式野球定期戦/祝勝会	コボスタ宮城
	5/24(日)	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	仙台カントリー倶楽部 名取コース
	7/4(土)	同窓会総会	江陽グランドホテル

〈活動報告〉

○平成26年度同窓会総会

平成26年度同窓会総会が7月5日(土)、江陽グランドホテルで開催され、特別講演、懇親会を通じて160名の会員が出席しました。

物故者への黙祷の後、大井龍司会長(高10回)、渡邊幸雄校長(高26回)のご挨拶があり、来賓紹介の後、大井会長の議長により協議。25年度事業報告、同収支決算報告、監査報告、26年度事業計画、同収支予算、会則改正(支部常任委員の新設)等の議案について審議がなされ、いずれも満場一致で承認されました。

引き続き、いずれも今回の当番幹事である高25回のメンバーから今野明氏(梁川病院長)、鈴木昌一氏(南相馬市議会議員)、伊藤博英氏(NHKエグゼクティブ・アナウンサー=福島放送局)の3氏による「震災3年を経て、福島(南相馬市)の今」と題しての鼎談(特別講演)が行われました。

懇親会は、当番幹事の原敏紀氏(高25回)の司会により進行され、校歌斉唱の後、齋基之氏(高25回)が当番幹事代表挨拶。石井敏夫氏(中44回)の乾杯の音頭で懇親に移りました。

全国大会に出場する卓球、フェンシング、陸上、ヨット、将棋、囲碁、化学、物理の各部現役生への激励金贈呈式や、アトラクションとして抽選会が行われ、当番幹事の皆さんが盛り沢山の景品を準備され、懇親会を盛り上げていただきました。

最後に応援歌を熱唱、高64回の深松葉さんと佐藤淳哉君の若い二人の音頭で万歳三唱、来年の当番幹事の代表として角田哲氏(高26回)が閉会の挨拶、盛会の裡に終了しました。

なお、総会に先立って行われた校内ツアーには、8名の方が参加され、皆さんは何十年ぶりかの母校の姿に、当時のことを懐かしく思い出されていました。

○北陵祭への参加

9月6、7日(土、日)に開催された母校の文化祭である「第66回北陵祭」に同窓会ブースを設け、同窓生の皆さんの協力をいただき(10名、14作品)、絵画、写真、陶芸などを展示しました。力作ぞろいでした。

北陵祭に参加して3年目となる今年は、喫茶コーナーを設け、入室された同窓生、PTA、現役生の皆さんとお茶を飲みながら交流することができ、大変有意義な北陵祭への参加となりました。来年も同様な展示と催しを行う予定ですので、皆様の作品提供とご来場をお待ちしています。

〈部活動の記録(7～10月、全国大会出場分)〉

ヨット部、水泳(水球)部、フェンシング部、卓球部、陸上部、馬術部、囲碁部、将棋部、化学部、物理部、数学愛好会が全国大会に出場しました。この中でも特に、囲碁部は全国高校選手権で団体優勝、化学部は国内予選を勝ち抜き、ロサンゼルスでの国際大会で入賞(実質2位)、馬術部はインターハイ3位、水泳部は国体4位という快挙を成し遂げています。なお、同窓会では囲碁部の快挙に金一封を贈呈し、その偉業を称えました。

●同窓会報のお詫びと訂正

6月2日発行の同窓会報(第47号)の記事について、以下の記載漏れ、間違いがありました。

本人・関係者はもとより、皆様へ大変不快な思いをさせてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。今後このようなことがないように、充分注意いたしますとともに、同窓会報・ニュースレターの充実に努めてまいります。

(1)記事の漏れ

[部活動の記録・スキー部]

○宮城県高等学校総合体育大会スキー競技(1/11・12)

女子回転	第4位	鈴木 響子	東北大会出場
女子大回転	第3位	鈴木 響子	東北大会・インターハイ出場
男子回転	第14位	佐々木 峻	第15位 高橋 達彦 2名東北大会出場
男子大回転	第14位	佐々木 峻	第16位 高橋 達彦 2名東北大会出場

○第69回国民体育大会冬季競技大会スキー競技会宮城県予選会(1/18・19)

女子大回転	第4位	鈴木 響子	国体冬季大会(やまがた樹水国体)に出場決定
	第6位	秋山悠歩	

○第53回宮城県高等学校スキー新人大大会(3/15・16)

男子回転	第6位	佐々木 峻	
男子大回転	第6位	佐々木 峻	
女子回転	第2位	鈴木 響子	第3位 秋山 悠歩
女子大回転	第2位	鈴木 響子	第3位 秋山 悠歩

[評議員名簿]

高6 大友 一郎 様、高8 後藤 潮 様、高17 山田 信一 様

(2)記事の訂正

[部活動の記録・化学部]

4箇所「中山美慧」、1箇所「山中美慧」の記述がありますが、正しくは「山中美慧」です。

「北陵ニュースレター」題字執筆者の感想 平成26年度書道部長(高68回) 齋藤 理彩子

今回このような機会に携わらせて頂いたことを、とても光栄に思います。私の二高のイメージでもある、のびのびとしてなおかつ勢いのある字を心がけて書きました。声をかけてくださった同窓会の皆様、本当にありがとうございました。

◆編集担当より◆

ニュースレターは同窓会報と違って、同窓会の情報を端的にお伝えするのが目的ですが、創刊号を発刊するにあたり皆さまにお伝えしたい情報量が多く、編集に苦労しました。今後も編集が大変なくらいに、情報満載でお届けできればと思います。本家の同窓会報につきましても、より充実して提供できるよう、皆さまからの原稿を募集しています。特に、県内外はもとより海外にも設立された各地支部の活動状況や、職域の集まり、クラブOB会、同期会などの情報をできる限り記載したいと思っていますので、写真を添えてお寄せ下さい。設立準備中の支部などにつきましても、現在の状況や苦労話などをご連絡下さい。また、会員の話や近況報告、現役時代の思い出や母校への思いなどの寄稿文や、「思い出のアルバム」「応援歌探訪」などの企画への情報提供もお待ちしています。

各種原稿は、同窓会事務局まで、郵送またはメール、FAXでお願いします。

関 裕介(高38回)